

畜産振興へ団体発足

「県全日畜」 国などに要望伝達

兵庫県内の畜産会社、農家などをつくる「兵庫県全日本畜産経営者協会(県全日畜)」が、このほど発足した。要望や意見を国や自治体などに伝え、畜産の活性化につなげる。

県全日畜は、飼料メー

カーごとに畜産家を組織する県内12の荷受組合などで構成。傘下の畜産家は約4800人。2009年3月に全国組織の「全日本畜産振興事業中央会」が発足した後、各地に下部組織として地方の団体が設立されており、飼

料メーカーは、農協グループ系と、「商系」と呼ばれる大手商社・独立系に大別されるが、県全日畜は商系メーカーと取引する畜産家で発足した。これまで畜産家の団体は荷受組合のみで、飼

料メーカーを超えた団体を組織することで、行政への発言力を高める狙い。県によると、県内で使われる飼料のうち、商系メーカーのシェアは約70%という。篠山市でプロイラー農場を経営する細見茂文・県全日畜会長は「会員の協力体制を強め、畜産の振興に力を入れたい」と話した。